

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
2023年 5月26日	
愛知県知事 殿	
提出者 住 所 愛知県碧南市浜町1番地 氏 名 日鉄ステンレス株式会社 製造本部 衣浦事業所 所長 前田 兼一郎	
(法人にあつては、名称及び代表者の名) 電話番号 0566-48-7211	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量 その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	日鉄ステンレス株式会社 製造本部 衣浦事業所
事業場の所在地	愛知県碧南市浜町1番地
計画期間	2023年4月1日～2024年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	鉄鋼業
②事業の規模	製品出荷額；3,905(百万円)
③従業員数	52人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	① 鋳さい・・・全所→最終処分場 ② 廃プラスチック・・・全所→中間処理 ③ 木屑・・・全所→中間処理 ④ 汚泥・・・全所→中間処理 ⑤ 複合材・・・全所→中間処理 ⑥ 廃油・・・全所→中間処理 ⑦ 廃アルカリ・・・全所→中間処理 ⑧ がれき類・・・全所→最終処分場 ⑨ 蛍光灯(水銀使用製品)・・・全所→中間処理 ⑩ HIDランプ(水銀使用製品)・・・全所→中間処理 ⑪ ガラスくず等・・・全所→中間処理 ⑫ 管理型混合廃棄物・・・全所→中間処理 ⑬ 金属くず・・・全所→中間処理 ⑭ 廃酸・・・全所→中間処理 ⑮ 廃電気機械器具・・・全所→中間処理

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 所内、環境管理手順書 KA311「副産物(産業廃棄物)処分管理手順書」による。			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度(2022年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	鉍さい	廃プラスチック
	排出量	36828.88 t	464.575 t
	産業廃棄物の種類	木くず	汚泥
	排出量	149.78 t	645.7235 t
	産業廃棄物の種類	複合材	廃油
	排出量	2.63 t	236.563 t
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	がれき類
	排出量	18.091 t	36902.07 t
	産業廃棄物の種類	蛍光灯(水銀使用製品)	HIDランプ(水銀使用製品)
	排出量	0.487 t	0.213 t
	産業廃棄物の種類	ガラスくず等	管理型混合廃棄物
	排出量	25.42 t	240.16 t
	産業廃棄物の種類	金属くず	廃酸
	排出量	0.87 t	136.218 t
	産業廃棄物の種類	廃電気機械器具	
	排出量	1.49 t	t
	(これまでに実施した取組) 特に無し。		
	② 計画	【目標】2023年度	
		産業廃棄物の種類	鉍さい
排出量		33,000 t	300 t
産業廃棄物の種類		木くず	汚泥
排出量		100 t	300 t
産業廃棄物の種類		複合材	廃油
排出量		3 t	120 t
産業廃棄物の種類		廃アルカリ	がれき類
排出量		1 t	33,000 t
産業廃棄物の種類		蛍光灯(水銀使用製品)	HIDランプ(水銀使用製品)
排出量		0.5 t	0.2 t
産業廃棄物の種類		ガラスくず等	管理型混合廃棄物
排出量		1 t	200 t
産業廃棄物の種類		金属くず	廃酸
排出量		1 t	20 t
産業廃棄物の種類		廃電気機械器具	
排出量		1 t	t
(今後実施する予定の取組) 特に無し。			
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特に無し。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特に無し。		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 特に実施していない。		
② 計画	【目標】2023年度		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 特に予定無し。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組) 特に実施していない。			
② 計画	【目標】2023年度		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組) 特に予定無し。			

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 特に実施していない。		
② 計画	【目標】2023年度		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 特に予定なし。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 特に実施していない。		
② 計画	【目標】2023年度		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 特に予定無し。		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 実施していない。		
② 計画	【目標】2023年度		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 予定無し。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	※別紙1を参照してください。 (これまでに実施した取組)		

② 計画	【目標】 2023年度		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	<p>※別紙1を参照してください。</p> <p>(今後実施する予定の取組)</p>		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

単位：トン

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

		【前年度（2022年度）実績】																
		産業廃棄物の種類	鉱さい	廃プラスチック	木くず	汚泥	複合材	廃油	廃アルカリ	がれき類	蛍光灯 (水銀使用製品)	HIDランプ (水銀使用製品)	ガラス屑等	管理型 混合廃棄物	金属くず	廃酸	廃電気 機械器具	合計
①現状	全処理委託量	36828.88	454.575	149.78	645.7235	2.63	236.563	18.091	36902.07	0.487	0.213	25.42	240.16	0.87	136.218	1.49	75643.1705	
	優良認定処理業者への 処理委託量	36828.88	1.9	149.78	520.3535	2.63	236.563	16.351	36902.07	0.487	0.213	9.12	0	0.87	4.178	1.49	74674.8855	
	再生利用業者への 処理委託量	0	16.8	149.78	86.11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	252.69
	認定熱回収業者への 処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	(これまでに実施した取組)		・可能な限り再生利用業者への処理委託を行い、最終処分量の低減をはかる。															
		【目標】2023年度																
		産業廃棄物の種類	鉱さい	廃プラスチック	木くず	汚泥	複合材	廃油	廃アルカリ	がれき類	蛍光灯 (水銀使用製品)	HIDランプ (水銀使用製品)	ガラス屑等	管理型 混合廃棄物	金属くず	廃酸	廃電気 機械器具	合計
②計画	全処理委託量	33000	300	100	300	3	120	1	33000	0.5	0.2	1	200	1	20	1	67047.7	
	優良認定処理業者への 処理委託量	33000	2	100	200	3	120	1	33000	0.5	0.2	0	0	1	5	1	66433.7	
	再生利用業者への 処理委託量	0	10	100	50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	160
	認定熱回収業者への 処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(今後実施する予定の取組)		・特になし。																